

使い方を実践!



スタート!



寄せ植えの土づくり開始

ご協力いただいたスタッフの土屋さん

土に混ぜ込み長く効かせ
葉面散布で速効性を実感

では、実際の使い方を検証してみよう。協力してくれたのは本店スタッフの土屋寿々香さん。

まずは、土への混ぜ込み用に使うpentagarden・ペレットからスタート。コンテナに底石を敷き、土を半分ほど入れたところ、鉢の容量に合わせてpentagarden・ペレットをひと掴み投入。しっかりと土に混ぜ込んだ後は、花苗と残りの土を入れて完成だ。つまり元肥と同じ使い方。これでおおよそ40日間、根からALA(アミノレブリン酸)と肥料成分とがゆっくりと吸収されていき、光合成を促し続ける。続いて、屋内で楽しむパンジー(！)づくり

りに挑戦。立派に育った大株と小ぶりなスクエアテラコッタをチョイスし、植え込んでいく。これで後は部屋に飾るだけなのだが、当然日当たりの悪い室内でパンジーは非常識。そこで登場するのが、液体肥料の「pentagarden・バリュー」だ。日々の水やりとともに、100倍希釈して花以外の株全体に吹くと、茎や葉からALA(アミノレブリン酸)がダイレクトに細胞に届き、その瞬間に光合成を促しはじめる。これで低日照下でもパンジーは元気というわけ。

屋内植物には、今春新発売の液肥「pentagarden・バリュー 室内・観葉植物用」が強い味方になることだろう。用途やシーンに合わせて、シリーズ6タイプの中から上手に使い分け、あるいは併用したい。高い理由があった、といえそうだ。

◎読者プレゼント

コスモALA(株)から、右のpentagardenのエプロンと、土に混ぜ込み使う「pentagardenペレット」をセットで5名の方にプレゼントします。ご希望の方は郵便ハガキに住所・氏名・電話番号・職業(屋号)・希望商品を明記の上、下記までご郵送ください。

〒451-0045

愛知県名古屋市西区名駅2-25-10
グリーン情報「pentagardenプレゼント係」

NEW
pentagarden Value 室内・観葉植物用
2014年2月1日発売予定

低日照下でも植物イキイキ
新発想の画期的肥料

「pentagarden」

ヨネヤマプランティション
本多 弘マネージャーに聞く

pentagardenの魅力



「なんだかよく分からない? では、実際の使い方を検証しながら、その秘密を紹介していく。」

室内植物の選択肢を広げてくれる

話を伺ったのは、園芸事業部の本多弘マネージャー。商品バイヤーという立場上さまざまな資材を目にしてきたが、pentagarden特有の効果は、室内園芸の可能性を大きく広げそうだと話す。「取り扱いを始めたのは3年ほど前。日照が必要な植物でも室内で楽しむ方法はないかと感じていた際に、pentagardenに出会いました。事務所内の植物、シマトネリコやシナモンなどに希釈して与えてみたのですが、やはり植物自身が強くならないのを感じます。普通なら枯れや葉の黄化が出てもおかしくない低日照下でも、元気に育つんですよ。これには驚きました」。

日照が必要な植物が、低日照下でも元気に育つ。魔法のような言葉だが、それこそがpentagardenの核ともいえるALA(アミノレブリン酸)の力だ。余談だが、ラテン語で5をpentagardenと読む、というのがシリーズ名の由来だそう。

CMや電子POPの効果も実感

「コスモ石油のTVC CMを覚えているお客様も多く、それも販売の追い風になっています」と本多さん。

2008年、2010年に放映されたpentagardenのCMは、耳馴染みの良いメロディーとあいまって多くの人の印象に残っている。それを後押しするのに、什器に取り付ける電子POPだ。CMで流れたメロディーとともに、pentagardenの効果や使い方を紹介するこの動画が、売り場の大きな営業力になっていると話す。販売

じやないでしょうか」。

VCMが復活するかも?

「価格だけを見れば、決して安い商品ではないです。ただお客様の中には、商品を使って、植物が弱ってきたときにピントで使うというように、上手に使っている方も多い。そうしたり実感されている証拠ではないでしょうか」。さらにお店では、「ついで買いを期待して、鉢花のそばに置いたりもしています。部屋に飾りたいけれど日当たりが悪いから光合成を促しはじめる。これで低日照下でもパンジーは元気」とあきらめていたシーナでも、いろいろな植物から選択する幅ができる

